

日本ウマ科学会 2019年度 第3回常任理事会議事録

日時:2019年7月19日(金) 13:30～

場所:日本装蹄協会 会議室 (JRA 新橋分館 7階)

出席者: 青木 会長
田谷 副会長
平賀 副会長
笠嶋 庶務担当常任理事
楠瀬 編集担当常任理事
石田 学術担当常任理事
桑原 国際担当常任理事
和田 広報担当常任理事
佐々木 臨床担当常任理事
成田 事務局長

議事

1. 役員および評議員候補者選考委員会
2. 各賞選考委員会
 - ①学会賞および奨励賞選考委員会報告
 - ②功労賞選考委員会
3. 報告事項
 - ①第32回学術集会について
 - ②認定馬臨床獣医師制度について
 - ③その他

議題1.

- 笠嶋常任理事より、2020-2021年度の役員および評議員候補者(案)が提示され、原案通り承認された。
- 学術・国際委員会の委員の変更については、すべて原案通り承認された。臨床および学術委員会の委員の変更については9月中に更新できるように調整する。

議題2.

- 楠瀬常任理事より、先の選考委員会において学会賞1件、奨励賞1件の推薦があり、学会賞受賞候補者に大村一会員、奨励賞受賞候補者に黒田泰輔会員をそれぞれ選考した旨の報告がなされ、全会一致で承認された。
- 続いて功労賞選考委員会を開催した。功労賞受賞候補者に石田信繁会員が推薦され、

全会一致で承認された。

- 早急にメールでの臨時理事会を開催した上で、上記 3 賞の受賞者を正式決定し、本年 11 月の学術集会における受賞講演の準備を進める予定。奨励賞受賞候補者の黒田泰輔会員は学術集会時に海外赴任中のため、受賞講演は第 33 回学術集会で行うこととする。
- 平賀副会長から、各賞の受賞者選考については、特に該当者が存在しないときは、「該当なし」とすると共に、学会賞は「学術賞」から変更された過去の経緯を考えると、学術研究分野以外の人材にも受賞の機会を与えるべきではないかとの意見があり、全員がこれに賛同した。

議題 3. ①

- 事務局および石田常任理事より、第 32 回学術集会のスケジュール(案)が報告された。一般講演のほか、学会賞受賞講演、臨床委員会企画の招待講演・症例検討会、ランチョンセミナー等が予定されている。
- 臨床委員会では Dr. Florent を招聘し、学術集会における招待講演・症例検討会のコメントーターほか、生産地における講義・実習が予定されている。JRA 栗東 TC における VetPD について開催協力依頼することが確認された。
- 上記の臨時理事会を経て受賞者が正式決定した段階で、現時点でのプログラム(案)を HP 上に公開する予定。
- 本年度の学術集会においても、芸術分野の会員の作品を企業展示会場の一部を利用して、公開展示することが承認され、具体的な実施内容に関しては、倉田評議員と事務局の間にて協議のうえ、準備を進めることが了承された。
- 以上の協議を経て、早速、学会業務委託に関して業者アームズ社と今年度の契約を締結することとなった。

議題 3. ②

- 佐々木常任理事より認定馬臨床獣医師制度の試験準備概要について、現在 HP の他、各種雑誌等で広報中であり、試験問題を作成中であると報告された。10 月 1 日から試験申込み開始で、受験者は 30 名を見込んでいると報告された。
- 臨時常任委員会メール会議において、日本ウマ科学会認定馬臨床獣医師認定規程の一部変更については第 5 条 2 項における字句修正、第 12 条に記載のあった様式 5 を削除した。

議題 3. ③

- 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(2020 年 2 月 東京)における特別企画(案)への参画が承認された。本年度は引き続き三角先生(鹿児島大学)が担当し、テーマは三角先生に一任することになった。